

寸言

株式会社 石川組
国際部 取締役部長
茂田 龍夫



“JA2018 TOKYO” 成功の一助へ

この度は日本航空宇宙工業会のメンバーに迎え入れていただき大変光栄に存じます。

弊社は横浜で1912年・大正1年に創業し、税関の通関業務・本船までの輸送等を行う会社としてスタート致しました。その後も輸出輸入手続や船社・航空会社との貨物取扱を行い、100年以上も前から横浜港を中心にその後、東京にも事務所・倉庫を構え発展してまいりました。

多くの物流企業は顧客殿の継続性のある貨物の取扱いを目指していると考えます。もちろん弊社でも継続性のある輸出・輸入貨物を扱う部門もございますが、その社の中で展示会やイベント貨物だけを扱う特殊な部門があり、年間をとおして展示会関係に特化した仕事を専門に取扱う部署がございます。

旧、日本貿易振興会（JETRO）が海外展開しておりました国際見本市の貨物も、弊社倉庫のある横浜港から大量に船積・輸出されてまいりました。その後は、輸送形態も在来船からコンテナ化と変革してまいりました。

弊社が得意とする展示会輸送の国内案件では、東京モーターショーを始め国内で開催される多くの展示会貨物の税関手続・輸送・会場内作業を指定業者として、主催者に成り替わり保税取扱と物流全体の管理を行っております。

航空関係では関東圏内で行なわれておりましたJapan Aerospace展において指定業者として1995年、2000年、2004年、2008年とご協力をさせていただきました。

宇宙関係のトピックスとしては、1978年東京お台場で開催されました東京大宇宙博・SPACE EXPO '78でサターンロケットや帰還アポロカプセル、月面車等全ての輸送を任せられ、アメリカの各地からその当時のお台場13号埋立地の会場への設置までの手続・作業を行いました。そして閉会後も安全にご返却いたしました。

また海外で行われております航空展では、当時

補助事業の一環として日本貿易振興会の元でパリ、ファンボロー、バルリンのエアショーに輸送するという命を仰せつかりました。JETROの現地事務所と連携を取りながら搬入から完全撤収・日本返却までをさせていただきました。現在もパリ、ファンボローのエアショーではお取引をさせていただいており、おおくのニーズをいただきサービスのレベルアップを図っております。

近年では海外メーカーからの依頼で自衛隊基地や米軍基地への輸送も増えております。

F35のモックアップのように大きなものからデモンストラターまでの手続・輸送依頼が増えております。

MRJプロジェクトにも初期から参画をさせていただき、世界・国内のイベントにおいて輸送・設置・組立支援を継続的に担当させていただいております。

弊社の考える展示会における物流は、展示会には会期があり期間限定であることから、必ず所定期間までに安全確実にお届けをすると言う条件があります。当たり前のように、これが海外での諸条件の違いで思うようにいかない事が多々あります。その点、経験によるノウハウと実績が大変重要であると自覚しております。担当者が顧客目線で隅々まで気を配り、現地会場をイメージしながら段取りを進めております。この種のことは誰もが普通に出来るようにお思いかも知れませんが、全ての出展者の展示スペース建造と展示品搬入が同時に進行する展示会前の準備段階や展示会終了後の撤収段階の状況を少しでも経験された方にはお分かりいただけるのではでないでしょうか。

弊社は決して大きな会社ではございませんが、小回りの利く、血の通ったサービスをモットーに大事な展示品発表の場で最大の成果が得られるように黒子として努力してまいります。そしてJA2018 TOKYOの成功と皆様の発展の一助となるように努力致します。

今後ともよろしくごお願い申し上げます。